

レーザーフェイシャル説明・同意書

当院で使用する米国キャンデラ社製 GentleMax Pro (ジェントルマックス プロ) は、厚生労働省の医療機器承認を取得したロングパルスアレキサンドライトレーザー、ネオジウムヤグレーザーです(販売名: 長期減毛・色素性疾患用レーザー装置 GentleMax Pro 承認番号: 23000BZX00128000)。ロングパルスアレキサンドライトレーザーを表皮冷却しながら顔全体に照射することにより脱毛ができ、さらに、メラニン色素除去によりシミを薄くし、肌質改善を期待できます。マイルドな治療なので、治療後であってもお化粧品等いつも通りにしていただけます。このフェイシャル治療は「レーザーフェイシャル」と総称されています。うぶ毛のような薄い毛は減毛効果が得られないため定期的な施術が必要になります。月に一回の治療を4, 5回受けて頂くことで改善効果を得られるため、継続的な治療が必要です。下記の注意や予想される合併症・効果についてよくお読みのうえ、治療を受けられるかどうかご自身でご判断ください。

治療が受けられない方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

☐ 光過敏症 (755nm の光に過敏) ☐ 単純ヘルペス 1 型、2 型の活動病変 ☐ 開放創や感染創
☐ 刺青の部位 ☐ 治療部位の癌 ☐ 2 ヶ月以内の日焼け ☐ 真皮性の色素斑の部位 等

※妊娠中の方は安全性が確立されていません。医師にご相談ください。

治療に注意が必要な方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤を使用中的の方は医師の判断によって治療が受けられない場合があります。

☐ てんかん発作 ☐ ケロイド、瘢痕体質 ☐ 免疫抑制剤 ☐ ステロイド製剤 ☐ 全身状態不良
☐ 糖尿病等の慢性疾患 ☐ フィラー注入部位 ☐ 黒子の部位 ☐ 抗凝固剤・鉄剤

治療前注意事項

【日焼けの禁止】

日焼けをした状態では熱傷を生じるリスクが高くなるため、照射をすることができません。日焼けをしないよう SPF30 以上の日焼け止めの使用等、日焼けを予防してください。

※日焼けしてしまった場合には、日焼けが落ち着いてからの照射となります。

【皮膚の清浄】

照射部位に日焼け止めや化粧品(クリーム、化粧水含む)が残っていると、レーザーが成分に反応して熱傷を起こす可能性があります。照射前には必ず落としてください。

治療中注意事項

- ・いつもと違った痛みやヒリヒリするなど違和感がある場合はお申し出ください。
- ・レーザーの光から目を保護するためにゴーグルをかけていただきますが、ゴーグルをかけている状態でも必ず目を閉じていてください。目を閉じた状態でも明るく光を感じることもありますが、影響はありません。レーザーを直視しないよう、施術中は絶対にゴーグルを外さないでください

治療後注意事項

- ・照射部位が赤く腫れることがあります。これは一過性の症状ですので1週間程度で軽快します。1週間以上経過しても軽快しない場合は早めにご連絡ください。

- ・照射部位は搔かないでください。皮膚を傷つけることで色素沈着になる可能性があります。
- ・治療当日はシャワーのみで入浴は避けてください。医師またはスタッフの指示に従ってください。
- ・痒み強い場合は来院してください。
- ・照射後は肌が乾燥しますので十分な保湿でのスキンケアをおこなってください。低刺激のものを推奨します。
- ・レーザー治療を継続している間の日焼けは禁止です。外出時は必ず日焼け止めを使用してください。

合併症について

【毛嚢炎】

レーザー照射により毛穴に細菌が入って炎症を起こす毛嚢炎を起こすことがあります。

【熱傷や凍傷】

肌の色によっては軽い熱傷を起こすことがあります。日焼けされた場合に照射してしまうと熱傷のリスクが高くなります。また、冷却ガスを使用していますので、凍傷を生じることがあります。

【硬毛化】

ごくまれにレーザー照射部位が治療前よりも毛が濃くなることがあります。これを「硬毛化」といいます。現在のところ確実な対処法が確立されていません。フェイスラインで多く出現する傾向があります。これらの部位のレーザー照射はお勧めしていません。

【その他】痂皮形成、色素沈着、色素脱失、瘢痕形成、紫斑、紅斑、浮腫、掻痒感、毛孔一致性の炎症

※レーザー脱毛は永久に無毛状態を保つことができるわけではなく、若干の毛（体毛）の再生が生じます。

院長殿

私は、上記の内容を理解し、レーザー治療を受けることに同意致します。

年 月 日

氏 名

説明医師 春日 正隆